

IGS日本支部賞

## 技術奨励賞を受賞して

東洋紡（株）スパンボンド事業部 下田 宏治

この度は、「セシウム吸着機能付ジオシンセティックスの除染区域への適用における継続調査」として寄稿させていただきました技術報文に対し、技術奨励賞を賜り誠に光栄に存じます。受賞にあたりご協力をいただきました皆様、ご推薦いただいた学会員様に厚く御礼申し上げます。

受賞にあたり報告文を読みなおしましたが、5年間もよく続けたなと思うところが正直なところでは、最初に現場に入ったのはまだ残暑の残る頃で汗だくになりながら作業を行い、途中凍えそうになりながら冬場の計測しておりました。最初のころはまだ規制中の道路もあり、現場へ行くのに迷ったこともありました。

放射性物質、放射線等の基本的な知識は覚えては行ったのですが、なにぶん無味無臭で目にも見えないものの移行抑制を実験していることから、計測データを頼りに効果を確認しているうちに5年間を費やしたといえるのかもしれない。

当時より避難住民が帰宅するにあたって山を全部除染する計画はなかったことから、未除染区域より放射性物質の流入を抑制することで安心して帰宅できるのではと考え、本実験を行っておりました。放射性物質（主にセシウム）の半減期が長いことから、この実験により効果が確認できれば役立つと考えておりました。当社が行った同様の試験施工は役所様でも一部行われたみたいですが、本施工は行われてはいないようです。今後、本工法が使われるような事象はあってはなりません、いざという時のためのデータとして役に立てば幸いです。

本稿が出るころは震災発生より丸10年が経過していると思いますが、いまだ帰還できない方々の報道等を見るたび、早く安心・安全な環境になることを望むと同時に、今後も今回の受賞を励みに、ジオテキスタイルによる環境浄化への取り組みを進める研究に取り組んでいきたいと存じます。

最後となりますが、本実験を行うに当たり助成金をいただきました若狭湾エネルギー研究センター様、ご指導いただきました明星大学理工学部宮脇健太郎教授、現地でご配慮いただきました大林組松谷様、長谷川様、ご協力いただきましたすべての方々に御礼申し上げます。